

【樹木・草花の部屋】

カネノナルキ（ベンケイソウ科クラッスラ属 Crassula ovata）

和名；フチベニベンケイ **別名**；カネノナルキ、カゲツ **英名**；dollar plant

バラ目 常緑低木・多肉植物

原産地；南アフリカ **花言葉**；一攫千金・幸運を招く・富・不老長寿 **花の色**；白、ピンク



← 写真－1 カネノナルキの樹形

撮影日：2013年2月5日

撮影場所：青森県薬研温泉にて

撮影者：Mさん

青森県下北半島の薬研温泉で宿泊したホテルのロビーにありました。普段、どこでも見られる植物ですが・・・。花が可憐で、場所がらの珍しさも相まって、カメラに収めました。

外は約1.5mの積雪にもかかわ

らず、元気に花をつけていました。温泉のせい？

写真－2 カネノナルキの葉 ⇒

撮影日：2013年2月5日

撮影場所：青森県薬研温泉にて

撮影者：Mさん

無霜地帯の露地で栽培すると樹高は3m以上になる。葉は多肉質の長円形で長さ3cmくらい、明るい緑色で金属様の光沢があり、辺縁部は赤く、特に秋から冬に鮮やかな色になる。葉に斑の入る種類もある。



【樹木・草花の部屋】



写真-3 カネノナルキの花

←

撮影日：2013年2月6日

撮影場所：青森県薬研温泉にて

撮影者：Mさん

開花期は冬。

英語ではDollar Plantとい
い、葉が硬貨に似ているのが名前の由来。日
本では昭和初期に渡来。業者が五円硬貨の穴

を頂芽に通して固定し、若枝が硬貨の穴を通ったまま成長するようにして硬貨がなったように見せかけ、一種の縁起物的な販売方法をとったため、「金のなる木」や「成金草」の園芸名で俗称されることが多くなったそうです。

<ちょっと一言>

カネノナルキと呼ばれているので、樹木の仲間と思われませんが、多肉植物の仲間で見葉植物として人気があります。

育てるポイントとしては、1年を通して水やりを控えめにします。それは、葉が十分に水分を含んでいるので、乾燥には強く、加湿には弱いのです。また1年を通して日によく当てるのが大切です。特に、花を楽しみたいときは十分に日光に当ててしっかりとした丈夫な株をつくり夏以降は枝を切らないようにしましょう。

仲間

葉っぱが小さなヒメカゲツ(姫花月)、
明るい葉色のオウゴンカゲツ(黄金花月)や
ヒメオウゴンカゲツ(姫黄金花月)、
クリーム色やピンクの模様が入るカラフルなラクジツノカリ(落日の雁)などがあります。
また、葉が短いこん棒状に変化したウチュウノキ(宇宙の木：ゴーラムとも)があります。

ふやし方

挿し木や葉ざしでかんたんに増やすことができます。

ベンケイソウ 名の由来

名前の由来は、茎葉(けいよう)が多肉質で、切って捨てても枯れないという意味から、古くは、伊岐久佐(いきくさ)と呼ばれました。

その後に、武蔵坊弁慶(むさしぼうべんけい)のように、枯れない強い草という意味から、弁慶の名が頭について、ベンケイソウという名になったという由来があります。